



**学年目標** 『自他共に尊重し、逞しい心をもって、自ら考え、行動する集団に』

～ チーム 36 期 ～

## Webコンテスト 学校代表決定!

情報の授業を中心に取り組んでいる Web コンテストの学校代表が決定しました。高校1年生からは4チームが選出され、2年生と合わせて今後サーバーへのアップロード等、引き続き作業を進めていきます。本校からは毎年優秀な作品が選ばれ、素晴らしい実績を残しています。今年度も健闘を期待しています!

代表チーム

- 180031 「太陽系 The Fantastic Solar System」 安丸・向笠・庄村・佐藤・榊原・井口
- 180044 「これでキミも食マスターだ!!」 村田・水上・松野・小沼・小河原
- 180072 「S I T K 子供貧困サミット」 鈴木・新・岡田・高橋
- 180088 「遺伝子組み換えってなあに？」 竹内・齋木・倉賀野・大川



## 千葉県高等学校長協会賞 受賞!

9月26日に行われた千葉大学主催第9回高校生理科研究発表会において、科学部の松野君と村田君の研究「氷IVの結晶作成」が千葉県高等学校長協会賞を受賞しました。この賞は無機化学部門に参加した52団体中、最優秀と評価されたことによるものです。おめでとうございます!



## 教員コラム「日本は本当にグローバル化できるのか」

佐藤栄一

(注 以下の文章は、個人の感想意見を述べたものであって、学校全体の教育方針を述べているものではありません。ご了承ください。)

11月19日東京ドームでおこなわれた世界野球「プレミア12」準決勝で日本は韓国と対戦して3対4のスコアで敗れた。しかも先発大谷の好投もあり8回まで3対0でリードしながら最終回にリリーフ陣が崩れ一気に4点を奪われての大逆転負けである。予選では5対0で完璧に叩きのめした韓国相手にである。私の悪い予感がまさに的中した。前日学校で他の先生と話をしている際、私は、「日本は自分の国が一番強いといううぬぼれや愚かなプライドから相手をなめきって、チャンスでもバントをせず大振り凡打を繰り返し潰してしまう。そのうち流れが相手の方になってしまい、ひとたび自分がピンチに陥ると浮足立ってしまい委縮してくだらないミスを犯して自滅してしまうメンタルのよろさ。そうなるともう相手の勢いを止められなくなる。また監督も選手に変な遠慮して思い切った采配ができない。日本に対抗意識の強い韓国相手では特にその傾向が強い。北京五輪の時の再来になるかもしれない。」と予想していた。結果はまさしくその通り。しかし私がもっと悔しいことは、当事者や特に関係者、解説者などもそのことには触れずに、ただ悔しい、残念、相手が良かった、でも選手たちは精一杯頑張ったと納得あるいは自己弁護してしまっている風潮である。これで日本の野球界の本当の発展はあるのだろうか。

グローバル化もしかり。世界的に権威のある THE 世界大学ランキングの最新版では日本の最高学府東大は昨年度順位23位から43位に順位を落とし、アジア内でもシンガポール国立大(同26位)、北京大学(42位同)に抜かれており、それ以外のSGU(スーパーグローバル)トップ型認定の大学も軒並みランクダウンしている<sup>1)2)</sup>。さらには、もうひとつの権威のあるQS世界大学ランキングではアジアにおいて香港大学、清華大学(北京)、ソウル大学に抜かれ京都大学(アジア7位)、東京大学(同8位)のありさまだ<sup>3)</sup>。その理由は言うまでもなく評価基準の重要なひとつである「国際性」の低さである。日本の大学は英語で授業がおこなわれず、日本国籍以外の教育スタッフや留学生の数が少ない等の国際的教育環境が十分に整っていないと評価されたからだ。数年前私が訪れたことのある中国や韓国のエリート校では多くの学生が自国のトップ校を目指すのではなく、直接、米国、英国などの世界ランキングの上位の大学に入学することを目標にして勉強に励んでいる。私の同僚が「日本に留学する生徒もいるのですか。」と質問をしたところ、現地校の校長先生に「それは20年前の話です。」と笑われて返されてしまった。彼らにとって日本のトップ校はもはや眼中に無いのだという事実には大きな衝撃を受けた。それと比較して相変わらず日本国内だけにしか目が向かず、東大、難関校、MARCHクラスの大学入学で満足してしまうような日本の教育現状が、将来グローバル社会で生き抜いていく人材を本当に育成できるのだろうかと不安に感じているのは私だけだろうか。

日本のグローバル化の条件としての英語教育についてよく、「英語ができなくても中身がなければグローバルではない。英語ができなくてもグローバルな人はたくさんいる。」という人がいる。私の感想は、前半部分は事実だが、後半は英語ができないことを正当化する言い訳、世界野球で日本が韓国に負けた時にした自己弁護と同次元のものであるとは思えない。少なくとも日本人にとっては英語ができなければ真のグローバル人材になることは難しい。なぜならば英語を身につけるということは、単なるコミュニケーションツールを習得するだけではなく、「シンプルに、ストレート(明確)に、ダイレクトに自分の考えを相手に伝え、相手と交渉する能力」、そして「どんな状況に陥っても対応できる柔軟性・機敏性・論理性」という日本人にとっては弱点ともいえる部分を克服する作業であるからに他ならない。欧米人であれば自国の言語でも何とか相手と対応することができても(実際彼らのほとんどが英語を話す)、島国で育った日本人では英語の習得、そして海外での生活経験がなければ真のグローバル人材になることは不可能であると私は考える。つい先日フランスのパリでテロ事件が起こったが、その際、現地で開催されていた「フィギュアスケートグランプリ フランス大会」が急遽中止された。テレビでは競技放送の代わりに、出場予定の日本選手達の姿が映し出されていたが、その中の若い男子選手が、流暢な英語を使って誰かに携帯電話で現在の状況や今後の対応、航空会

社へのチケットの発券のリクエスト等のやり取りをしていた。彼だけでなく一流のスポーツ選手や芸術家、学識者、企業家は英語が堪能で海外経験が豊富である。それがグローバル社会で通用する必修条件なのである。しかし今やそれらの人材の数でも日本は隣国の中国・韓国に大きく水をあけられつつあり、また、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジアなど英語が準公用語的に使用される国々の優秀な人材の台頭にも日本の若い世代の人々が追いついていくことができなくなっていると感じる。日本が今大きな岐路に立たされているのは紛れもない事実である。

現在SGU（スーパーグローバル大学 トップ型13校 牽引型計24校）がそれぞれの取り組みとして大学組織の編成、カリキュラムの改正、留学制度の充実、入試制度改革をおこなっている。一例としては東京大学の教養学部の英語コースの開設や理学部化学科の留学生編入者対象の英語授業等を実施する。他大学でも同様の改革が進みつつあるが、私達にとって一番身近なのが、いわゆるグローバル型入試（TEAP, TOEFLibt, IELTS 等英語四技能型試験利用）制度の導入である。上智大学を筆頭に様々な大学での実施、また今後の導入が予定されているが、多くの大学ではまだ手探りの状態で、今後どれだけ普及していくか注目される。これらの大学改革に私は大きな期待を寄せているが、これが本当にうまくいくかは大学だけの問題ではなく、日本の教育現場、企業、国や地方都市政策、そして国民全体の意識・価値観が変わっていかねば日本の本当の意味でのグローバル化の実現は絶対に不可能であろう。

参考文献

1)<http://resemom.jp/article/2015/10/01/27128.html>

2)<http://www.sankei.com/west/news/151001/wst1510010026-n1.html>

3)<http://w-square.com/information/460/>

## パスポートの申請について

来年のオーストラリア研修に向けて、パスポートを用意して下さい。まだ持っていない人は冬休み中に申請しましょう。10月17日の保護者会で配布しました、申請書に従って手続きをして下さい。また、すでに持っている人も有効期限（2016年12月末以降か）を確認しましょう。冬休み明けにコピーを提出してもらいます。早めに準備して下さい。

## 芸術鑑賞会 報告

11月6日帝国劇場にてミュージカル「ダンス・オブ・ヴァンパイア」を鑑賞してきました。こうもり(?)が舞い飛ぶロビーを通り抜け客席内に入ると、広いステージとオーケストラピットが目に入ります。迫力ある生演奏と一流の俳優陣の素晴らしい演技、また、途中、出演者が客席の間を行き来する演出もあり、ステージと観客が一体となって楽しい時間を過ごすことができました。格調高い芸術を鑑賞できたと共に、鑑賞のマナーを学ぶ良い機会になったと思います。



# 手帳を活用しましょう！



現在、学年で手帳を一括購入していますが、来年度も同様に購入する予定です。  
スケジュール管理や持ち物確認など、継続して活用して下さい。手帳は4月スタートの形式ですが、  
年末年始を控え、改めて使い方を見直しましょう。

## 今後の予定

12月

4日(金)～8日(火)	後期中間試験
14日(月)	文理希望調査票提出
22日(火)	40分授業LHR
23日(水)	天皇誕生日(休み)
24日(木)～1月6日(水)	冬期休業



### 夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰返し、失敗を繰返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。